

[質問1]

It seems that S V. と S seem to do. の書き換え(Vintage74 ページ)について、seem よりも V が前の時になぜ「S seem to 現在完了」に全て置き換えることができるのか教えてください。

[回答2]

まず前提として、文の時制を決定づけるのは主語の後ろにくる述語動詞ですよね。今現在のことなのか過去のことなのかを知るためには述語動詞の時制を確認してください。質問にあるような書き換えを考える際には、seem という述語動詞の時制（現在/過去）と、that 節の中にある動詞の時制が一致しているのか、それともずれているのかを見極めることが重要になります。that 節内の動詞が述語動詞 seem が表す時制と同じ時制であれば「to+動詞の原形」となりますが、that 節内の動詞が述語動詞 seem が表す時制よりも以前（昔）のことである場合には時制のズレを表すために「to+have p.p.」の形をとります。

以下の文について検討しましょう。(Breakthrough p.193, 194)

A: Ron seems to be in the hospital now. (= It seems that Ron is in the hospital now.)

「Ron は/ 今 思える / 今 入院している ように。→ Ron は今入院しているようだ。」

B: Ron seems to have been in the hospital last month.

(=It seems that Ron was in the hospital last month.)

「Ron は/ 今 思える / 先月 入院していた ように。→Ron は先月入院していたようだ。」

A も B もどちらも述語動詞は seems であり、現在のことを表していますね。しかし、to 不定詞以下の内容はどうでしょう。A は now があるので述語動詞(seems)と同じく現在のことを表すので「to+動詞の原形」ですが、B は last month から過去のことであることが分かります。このように述語動詞と to 不定詞以下の時制にズレが生じる場合、時制が違うことを表すために「to+have p.p.」となります。

[質問2]

suggest が to do でなく doing をとる理由を教えてください。

[回答2]

他動詞の目的語に不定詞を取るのか動名詞を取るのかは、非常に君たちを悩ませるものですね。まず、不定詞と動名詞のニュアンスの違いを確認しましょう。

不定詞→「動詞的性格が強い」

動名詞→「名詞的性格が強い」(名詞に近い)

その上で、suggest は、例えば、I suggested a new plan.のように、直接「もの」を目的語に取るので、動名詞が来るのだらうと思われま。

(参考) (○) I suggested a new plan to her.

(×) I suggested her a new plan.